

# 社会福祉法人 ひょうご障害福祉事業協会 令和2年度 事業報告書

## I 本部事業

平成30年6月に土石流および土砂災害の特別警戒区域に指定された「しそう自立の家」について、昨年度より移転を前提に移転先候補地の選定および建物の基本設計の策定を行ってきた。今年度に入り、6月に兵庫県知事から社会福祉施設等施設整備補助事業補助金の内示を受けたことより、「しそう自立の家」移転建設プロジェクトは具体化に向けて大きく前に踏み出した。実施設計を推進するとともに、9月に建設予定地（宍粟市山崎町与位）を取得（購入）した。11月に建設工事の入札を実施したが不落となり、再度、本年2月に入札を実施し建設業者が決定。翌月の3月から建設工事に着手し、令和4年3月の完成を予定している。

「新・しそう自立の家」は、立地が安全な場所であることと同時に、未来に向かって地域の新しい福祉社会の拠点となることを目指している。自然災害のもたらす異常気象や生態系の崩壊に対峙するSDGsの思想を実践し、すべての人が「誰ひとり取り残されない」社会の構築に小さなことから取り組む計画である。

この移転建設にあたっては多額の資金が必要となるが、上記の補助金に加えて、当法人の自己資金及び福祉医療機構からの借入金を組合せ、将来の持続的運営を見据えた資金計画を策定している。

三田市の指定管理事業として運営している「かるがも園」は、令和3年3月末に三田市との5年間の指定管理契約の期限を迎えることとなった。これを契機に「かるがも園」の指定管理事業について当法人としての見直しを行った結果、三田市の指定管理事業公募手続きを経て、当法人の母体であり療育訓練に特色のある公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団に引継ぐこととなった。

### 1 施設運営

昨年2月より感染が広まった新型コロナウイルスは、年度を通して一向に収まる気配がなく、感染力の高い変異株への置き換えも進みつつあり、今後とも一層の警戒と対応を迫られている。各施設では、日々の地域での感染状況の把握に努め、マスクの着用と検温、施設内の消毒・清掃などの基本動作を徹底し、感染者発生時の業務遂行計画の策定および必要物資の調達と備蓄を進めた。また、感染防止の観点から、入所者のためのボランティア活動、各種教室、夏祭りや餅つきなどのイベントを中止。入所者の不要不急の外出および家族等との対面での面会も原則禁止をせざるを得ない状況にある。新型コロナウイルス感染拡大は、入所者の生活に大きな影響を与えており、入所者の不安やストレスなどについてのケアのウェイトが高まっている。

「しそう自立の家」においては、自然災害リスクに対応して、特に夏季の通所ならびに短期入所を抑制的に運営している。また、「しそう自立の家」に併設しているグループホーム「楽」

は、同様の理由から今年度より運営を休止している。

## 2 財務全般

新型コロナウイルスの影響で通所および短期入所が低水準で推移したが、入所者の外出および外泊が減ったことから入所者の利用日数は増加した。この結果、入所系の3施設では事業活動収入は前年に比べ0.7%微増(7,941千円)したが、通所系の「かるがも園」の事業活動収入は前年に比べ4.9%減(▲8,603千円)となった。法人全体では、これに「しそう自立の家」移転建設に向けての寄附金が増加したことから、事業活動収入は前年に比べ1.4%増(17,373千円)となった。支出については、新型コロナウイルスにより各施設の行事活動が制約されたことから、事業活動支出も抑制され前年に比べて2.5%減(▲30,180千円)となった。これに、「しそう自立の家」移転建設における建設用地購入費用および各施設の施設整備関連収支を反映させた当期資金収支差額は26,207千円(前年度比13,115千円増)となった。

## 3 施設・設備整備

今年度も主に空調設備の老朽化に対応し設備更新および改修を実施した。「はんしん自立の家」では、2階の男子棟、ホールならびに静養室等をカバーする大型空調設備が、経年劣化により運転停止したため入替工事を実施。昨年度実施した1階エリアの空調設備の更新と同様、従来のGHP方式(ガスエンジン方式)から、耐久性およびランニングコストを勘案しEHP方式(電気方式)に切替えた。これに伴い高圧電源容量が不足することから、高圧動力トランスの入替(75KVA⇒150KVA)も実施した。

また、「はりま自立の家」および「はんしん自立の家」では、ICT等導入支援事業補助金により通信環境の整備を行うとともに、ロボット等導入支援事業補助金により「はりま自立の家」では介護用アシストスーツを導入、「はんしん自立の家」では眠りSCANを導入し、ともに介護スタッフの負担軽減に取り組んでいる。

「しそう自立の家」については、施設の移転建設が具体化したことから、現在の建物については必要最小限の営繕対応を行っている。

## 4 評議員会運営

第1回(定時)令和2年6月10日 みなし決議

議案 ①令和元年度決算(計算書類、財産目録ならびに附属明細書)の承認

第2回 令和2年10月10日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和2年度 第1次収入支出補正予算の承認

第3回 令和元年12月25日 みなし決議

議案 ①令和2年度 第2次収入支出補正予算の承認

第4回 令和3年3月22日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和2年度第3次収入支出補正予算案の承認 ②令和3年度事業計画の承認  
③令和3年度収入支出予算の承認 ④「しそう自立の家」の移転建設における資金計画の承認

## 5 理事会運営

第1回 令和2年5月22日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和元年度事業報告について ②令和元年度決算（計算書類、財産目録ならびに  
附属明細書）について ③諸規則の改定について ④評議員会の招集日時、場所、  
議題等について

第2回 令和2年8月3日 於 「はんしん自立の家」会議室

議案 ①「しそう自立の家」移転・建設に伴う補助金交付申請について ②「しそう自  
立の家」移転・建設に関する資金計画および担保提供について ③しそう自立の  
家」建設に伴う設計・監理業務委託契約の締結について ④「しそう自立の家」  
建設に伴う指名競争入札参加業者について

第3回 令和2年9月14日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和2年度 第1次収入支出補正予算案について ②給与規則の改定について  
③「しそう自立の家」建物建設工事の入札における入札参加業者への説明事項（入  
札要綱等）について ④評議員会の招集日時、場所、議題等について

第4回 令和2年10月10日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①「しそう自立の家」建物建設工事の入札における予定価格について

第5回 令和2年12月14日 於 神戸ベイシェラトンホテル

議案 ①令和2年度 第2次収入支出補正予算案について ②「しそう自立の家」建物  
建設の一般競争入札における入札参加資格について ③「しそう自立の家」建物  
建設工事の一般競争入札における公告事項及び公告の方法について ④「しそう  
自立の家」建物建設の一般競争入札における入札参加業者への説明事項について  
⑤ 評議員会の招集日時、場所、議題等について

第6回 令和3年2月3日 於 「はんしん自立の家」会議室

議案 ①「しそう自立の家」移転建設工事の入札における入札参加業者について  
② 「しそう自立の家」移転建設工事の入札における予定価格について

第7回 令和3年2月25日 於 「はんしん自立の家」会議室

議案 ①「しそう自立の家」移転建設工事に関する工事請負契約の締結について

第8回 令和3年3月10日 於 「はんしん自立の家」会議室

議 案 ① 令和2年度 第3次収入支出補正予算について ②令和3年度 事業計画について ③令和3年度 収入支出予算について ④しそ自立の家」の移転建設における資金計画について ⑤評議員会の招集日時、場所、議題等について

## 6 運営小委員会等

日 時 令和3年3月4日  
場 所 「はんしん自立の家」会議室  
課 題 昇給・昇格判定会議

## 7 監事活動

監事監査 令和2年5月14日 於 「はんしん自立の家」

## 8 海外チェンジャーホームとの交流及び国際交流

ラティテュード・ボランティアの受け入れ  
令和2年3月～令和3年2月  
「はりま自立の家」にカナダより1名  
令和2年3月～令和2年8月  
「はんしん自立の家」にオーストラリアとイギリスより各1名

## 9 研修及び施設連絡会議、その他活動

新入職員辞令交付式

日 時 令和3年3月27日  
内 容 辞令交付式と研修 各施設等を見学  
参加者 5名

法人合同中堅リーダー研修

内 容 各施設の中堅職員を育てるためのリーダー研修  
場 所 「はんしん自立の家」  
日 時 7月29日 8月5日 10月28日 11月9日 2月16日

施設連絡会議

日 時 6月11日、7月28日、9月9日、10月1日、12月7日、1月22日  
2月16日、3月4日

ケアマネジメント勉強会

日 時 令和2年12月3日

場 所 「はんしん自立の家」  
講 師 医師 柿木達也

#### 国際化社会セミナー

日 時 令和2年10月17日  
講 師 東京大学 建築学部教授 松田雄二  
テーマ 自立の家×SDGs  
場 所 「はんしん自立の家」

日 時 令和3年3月6日  
講 師 フォトジャーナリスト 古居 みづえ  
テーマ 望郷の地 パレスチナと福島と  
場 所 「はんしん自立の家」

## II 「はりま自立の家」

### (A) 障害者支援施設「はりま自立の家」

定員(現員)	施設入所支援 50人(49人)	令和3年3月31日現在
	生活介護 60人(登録73人)	令和3年3月31日現在

- ・3名が退所された。1名はご自宅で自立生活を始められた。月1回「はりま自立の家診療所」を受診、訓練に来られ、退所後も繋がりは持たれている。2名の方が死亡による退所。2名とも高齢であったため入院はされず、ご本人、家族の意向で最後まではりま自立の家で過ごされた。
- ・2名の方が入所された。1名は通所利用されていた方。1名は児童デイサービスを利用されていた方で、特別支援学校を卒業前に入所をされた。
- ・帰省・面会の中止、外出の自粛等、入居者の方にも協力していただき、新型コロナウイルス感染予防に努めた。毎日、手洗い、消毒、マスクの着用を職員間で確認したことにより、入居者・職員共にインフルエンザ等への感染はなかったが、オープンハウスを中止するなど、地域との交流の機会が減った。
- ・9名の方が入退院をされた。誤嚥性肺炎、尿路感染などが主な原因だった。
- ・各所の設備に、経年劣化の症状がみられ、随時修理を行った。

- ・神戸やまぶき財団に申請していた、食堂・集会室・廊下の空調機の入替えの助成が決定し、令和3年に実施出来ることになった。
- ・生活支援員2名が体調不調で退職。1名が2種に変更。1種職員1名が産休に入り、変則勤務の出来る職員が減り勤務調整に苦慮した。

**(B) 短期入所事業・日中ショートステイ事業** 定員 各4人

短期入所 利用実人員 障害者 17人 障害児 2人

利用延べ日数 699日

日中ショートステイ 契約市町 宍粟市

利用実人員 障害者 6人 障害児 5人

利用延べ日数 534日

- ・短期入所、日中ショートの利用者は共にほぼ固定化しており、生活介護との併用者が多い。定期利用される方が新たに1名増えた。

**(C) 居宅介護・重度訪問事業**

契約者 身体障害者 9人

サービス内容 居宅介護 4人 重度訪問介護 5人 移動支援 4人

年間延べ派遣時間 居宅介護 4,526時間 重度訪問介護 9,191.5時間

通院・移動支援 232.5時間

**(D) 児童発達支援・放課後等デイサービス事業**

① 児童発達支援事業（就学前児）

療育訓練登録人数 16人 年間延べ訓練回数 326回

宍粟市委託児童 7人 年間延べ訓練回数 9回

② 放課後等デイサービス（就学児）

療育訓練登録人数 23人 年間延べ訓練回数 468回

デイサービス登録人数 2人 年間延べ利用回数 201回

（内、訓練との併用者2人）

**(E) 福祉ホーム 「ローズハウスはりま」**

定員（現員） 入所 10人（9人）

- ・1名が退所され、市外の障害のある方たちが暮らす共同住宅の利用を開始された。

### Ⅲ 「はんしん自立の家」

#### (A) 障害者支援施設「はんしん自立の家」

定員(現員)	施設入所支援	50人(51人)	令和3年3月31日現在
	生活介護	60人(51人)	令和3年3月31日現在

- ・重度化高齢化が進んでいるが、新型コロナウイルス感染防止のために、外出外泊面会の制限をし、職員ボランティアの感染予防策が影響したか、インフルエンザ等の感染もなく入居者の健康は維持された。退所は睡眠中の呼吸停止による死亡が1名のみであった。レスパイトサービス利用者でかねてから希望されていた方が入所された。
- ・新型コロナウイルス感染防止のために行事や同好会活動を縮小したことにより支出は減った。外出や帰省も制限したため施設稼働率は高く、収入は安定した。
- ・前年度から継続した2階男子棟の大型空調設備の入替工事を行った。2階女子等系統は、次年度に取替え実施計画を立てた。
- ・職員配置基準内であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、海外留学生アルバイトに変化が生じ、ベトナム留学生に代わり、エチオピアやバングラディッシュ他のアルバイトを雇用したが人数は減った。
- ・宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」の配分は、絵本の購入のみだった。交流行事は開催できず、配分金の申請もしなかった。
- ・地域交流事業の実施は困難で、人数を限定したコンサート・SDGs講演会等を開催した。
- ・厳重な感染症対策のもとに兵庫県立総合衛生学院より介護福祉士養成のための実習生2名を受け入れた。

#### (B) 身体障害者短期入所事業・児童短期入所事業 日中一時支援事業

登録人数	136人	実利用人員	34人	短期入所事業利用延べ日数	1,689日
日中一時支援事業		延	49人	実人員	1人

#### (C) トラファルガー・スクウェア(小規模作業所)

##### 施設の概要

所在地	兵庫県宝塚市高司5丁目5-1
建物(借家)	66㎡
事業開始年月日	平成19年11月1日
定員(現員)	利用者 5人以上(5人)
管理者	石田英子

- ・宝塚市社会福祉協議会・宝塚市共同募金会「歳末愛の持ち寄り運動」より配分を受け、「絵本をよむ会」で使用する絵本を購入した。

## IV 「しそう自立の家」

### (A) 障害者支援施設 施設入所・生活介護

定員（現員）	施設入所支援	50人（49人）	令和3年3月31日現在
	生活介護	60人（登録71人）	令和3年3月31日現在

グループホーム「楽」の休止に伴い、令和2年5月1日より4名の方が、しそう自立の家に戻られ、49名の方がしそう自立の家で生活されるようになった。新型コロナウイルスの感染防止のため、二度にわたり緊急事態宣言が発出され、春、秋のオープンデーも中止した。買物外出、散髪、パーマ外出も控え、ドライブや館内行事を中心に行った。2名の入居者の長期入院があった。職員については、正職員2名、非常勤職員1名の退職があった。台風は発生したが、「しそう自立の家」を直撃することもなかったため、避難は行わなかった。設備、修繕については、1年後に移転を行うため、緊急の修繕以外は行わなかった。

### (B) 短期入所事業・日中ショートステイ事業 定員 各4人

短期入所	利用実人員	17人
	利用延べ日数	600日

日中ショートステイ事業	契約市町	宍粟市
	利用実人員	8人
	利用延べ日数	65日

- ・利用実人員は、昨年と変わらなかったが、ロングショートの方があり、利用延べ日数は増加した。

### (C) 共同生活援助事業 グループホーム「楽」

令和2年5月1日より休止

「しそう自立の家」の移転計画に伴い、令和2年5月1日より休止し、4名の方が「しそう自立の家」に戻られた。

## V さんだ子ども発達支援センター「かるがも園」

### (A) 児童発達支援センター「かるがも園」

定員（現員）：30人（26人） 年間延べ利用人数 5,071人

グループ療育（音楽教室・臨床美術・茶道・ハワイアンダンス・グループ感覚統合・体育教室・シェルボーンムーブメント）を充実させ、少人数により、お子さまに様々な体験をしていただいた。個別療育訓練を行う療育訓練士（理学療法士、作業療法士、言語



聴覚士)も、保育やグループ療育に参加し、指導員と協力し合っ  
てきめ細やかなお子さまへの支援を行った。

新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しながら療育を継続した。保護者に保育場面に参加していただく機会が少なくなったため、お子さまの様子をビデオに撮って紹介する等の工夫を行った。

#### **(B) 児童発達支援事業「すくすく教室」**

利用定員：1日10人 年間利用実人数 44人 年間利用延べ人数 1,243人

地域の集団との並行通園を希望されるお子さまが増えている。集団生活に  
適応できず、療育が必要と言われた方の中には、お子さまの発達や対応の仕  
方について不安を感じておられる保護者が多く、丁寧に相談に応じるよ  
うにした。また、保護者同士の懇談や研修を行った。

#### **(C) 障害児相談支援事業・特定相談支援事業「さんだ子ども発達支援サービス」**

相談支援事業 年間相談件数 353件

障害児相談支援事業・特定相談支援事業

サービス等利用計画作成・モニタリング 396件

障害のあるお子さまとご家族のさまざまな相談に応じ、必要に合わせてサ  
ービスを組み合わせて利用計画を作成した。保育所等への巡回相談で療育  
が必要と指摘されるケースが増えている。学校からの相談も増え、教諭  
やスクールカウンセラー等との協力が必要とされた。

#### **(D) 保育所等訪問支援事業「さんだ子ども訪問支援サービス」**

保育所等訪問支援件数 2件 療育講座2回実施 延べ受講者数 46人

新型コロナウイルス感染防止策のため、学校等への訪問支援は極力控えた。  
関係者を対象とした療育講座は、回数と規模を縮小して実施した。「気になる  
子どもの理解と支援」等のテーマで、現場ですぐに役立つ具体的な内容  
を紹介した。

#### **(E) 「子ども発達支援センター」の運営**

法外施設「子ども発達支援センター」の運営

公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団と協力し、療育事業の実施、  
保護者研修会の開催、職員のための研修等を行った。